

1. 建物概要

建物名称	(仮称)TRIAL掛川市大池田	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	-----------------	-----	---	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7	/5	ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5	ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.7
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④空調・給排水配管の更新必要間隔について、主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。(給水管:HIVP 排水管:VP 通気管:VP) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦BPI:0.94 ⑧BEI:0.44 ⑩建物で消費される各種エネルギー消費量を年間に渡って把握して、消費単位等を用いてのベンチマーク比較を行なえる。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水水栓、節水型機器を用いて節水を行っている。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率:49% ⑮主風向に対する見付面積比を40%以下とした。(見付面積比=12%)	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出	3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	2 ⑧ 自然エネルギー利用	
	3 ⑨ 設備システムの高効率化	4 4.1 ⑩ モニタリング	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性を有する。 ■しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯建築物移動等円滑化基準を満たしている。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲防犯性の配慮を行っている。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ ユニバーサルデザイン計画	3 3.1 3.1.1 ⑱ 階高のゆとり	
	3.1.2 ⑱ 空間の形状・自由さ		
	Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.0
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑯生物環境の保全と創出/⑰まちなみ・景観への配慮/⑱敷地内温熱環境の向上) 特になし ■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑳温熱環境悪化の改善) ⑲主風向に対する見付面積比を40%以下とした。(見付面積比=12%)	Q-3 1 ⑯ 生物環境の保全と創出 2 ⑰ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑱ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-2 2 2.5 ⑲ 持続可能な森林から産出された木材		
	LR-3 2 2.2 ⑲ 温熱環境悪化の改善		

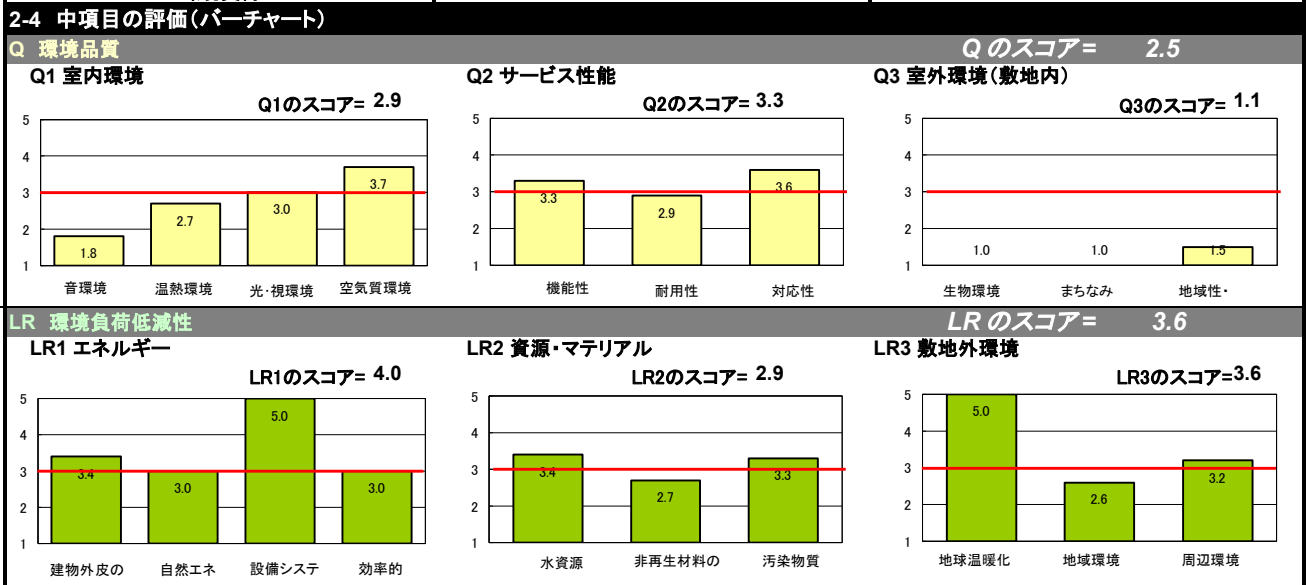
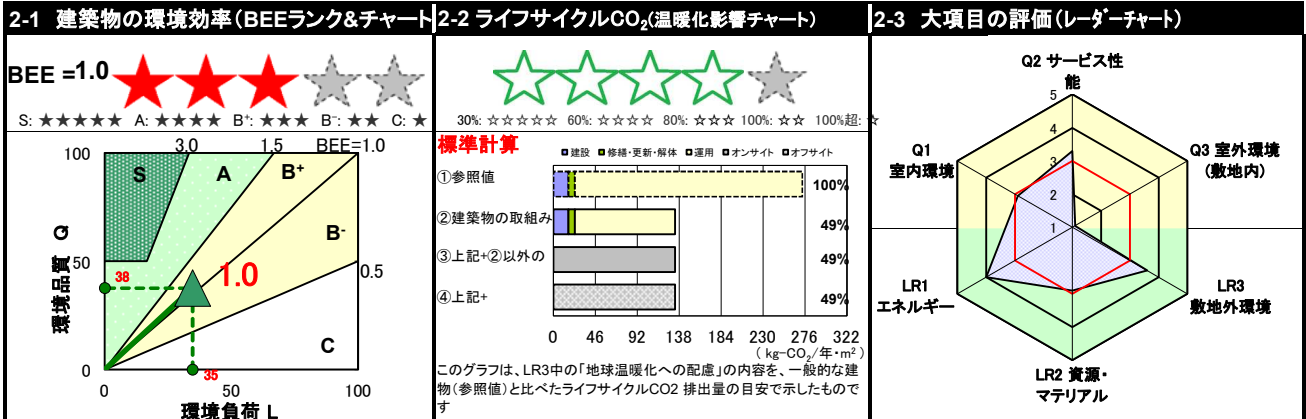
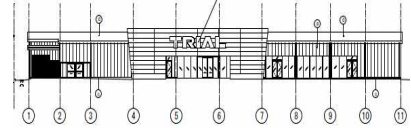
CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) TRIAL掛川市大池店	階数	地上1F
建設地	静岡県掛川市大池749	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2024年9月1日
敷地面積	14,980 m ²	作成者	株式会社河村佐藤デザイン
建築面積	5,188 m ²	確認日	
延床面積	5,109 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。		その他 特になし
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を使用 ・喫煙所を設け、施設内の空気質環境に配慮した。	Q2 サービス性能 ・階高にゆとりをもたせ、建物自由度をたかめた。 ・設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) ・作業室の排気口を屋根面に向け、空気質環境を考慮した。
LR1 エネルギー ・屋根材に断熱性能のあるものを採用した。	LR2 資源・マテリアル ・断熱材はすべてノンフロンとした。	LR3 敷地外環境 ・適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される